

二社中二十八社は吾々中部地方に工場を有してゐることと断じて見逃すことの出来ないのである。更に「繊維産業の生産地位は、一箱積、二生糸、三、織物、四、毛織である。近代化学工業の雄たる人絹工業に於ては、今や金融大買本家は巨大なる資金を投下し増産計画と著々進めつゝある。現に名古屋地方に於いても福沢方面に昭和レイヨン工場が新設されんとしてゐる。該工場はその工場の六から多量に於て、又近代化学的設備の点に、日本人絹工場にカッテ見せる大規模のものである（註）人絹工場は化学的製法製法力と競争に有してゐる。金属産業と東京大阪等にカッテ全面的に重要な位置に在る。金屋労働者の敬に於いて示す所は、東京が全国第一位で二位が大阪三位神奈川四位が兵庫、吾々愛知県である。然るその六工場（軍部高製造に關するもの）の二、三を挙げれば、愛知時計、日本車輛、三菱電機、三菱銀行機、千種機噐等である。更に近代工業の基礎を成し化学兵器の製造に不可欠なる條件を待つてゐる電産産業である。中部北陸の全地域は完全に東部電力によつて巨大なる独占力が掌握され大なる労働者も働いてゐる。此水に對して各労働組合とも充分に働きかけられてゐる。と同時に右翼、中道派組合は議員病者共々中心に電燈料値下の小市民運動に血眼にまつてゐる有様だ。其他交通、化学、木材、陶器等々大、中、小と無数の企業が至當に水でゐる。中にも交通（市電）労働者は旧評議會存在時代には中道交通労働組合が結成されてゐたが、三、一五事件、四、一〇事件等々を至て壞滅情態に陥り現在中合に解体されてゐる。又名岐、鉄道、愛知電鉄、三河鉄道、バス等々がある。不採、備子、函巻等はその大部分は中小至當にして、然る家内工業的、手工業的状態の工場が大部分を占めてゐる。かゝる産業状態の下に金融資本の攻勢は必然に中小資本を没落へ——労働者に貸下、首切、時間

延長并飢饉と競争してゐる。此水に對し吾々は此だけの組織力と以て對抗してゐる。即ち労働者の牙城たる労働組合の組織力がどんか攻勢を拵つたか、実はヒカの一言でつぎの程驚くべき未成熟を示現してゐる。成程吾々古屋には全国的職団を有する組合が全協、影響はあつたらしいが、成程状態は不分明である。日本労働総同盟、愛知果聯合会、日本労働組合總聯合会、愛知果聯合会、全国労働組合同盟、及び吾々中合の屋する日本労働組合、總評議會、中部地方評議會等である。其他名和のみの組合を除けば、単独組合として、愛知一般労働組合、名古屋製鋼労働組合がある。だが全体を通じて主体勢力は小なるものであつて、組織の未開地に等しい状態にある。かゝる敵の跳躍的吸血の下に放任され、従つて組織條件の100%の成熟にもかゝらず依然として各産業労働者と未組織散野に放任してゐる。この事は如何に我々左翼の力が比弱であるかを示してゐるものに外ならず、かゝる力の弱さを打破しアラエル場面と斗争によつて組織的に展開することへの努力が構はれるによつて組織の可能な状態にある。

吾々組合の任務

労働組合の組織基本は産業別横断組織であることは言を要しない。従つて吾々組合が健康産業労働組合として産業別労働組合の今だ組織されてゐない産業労働者と産業別組織と前提として組織されてゐるものであることは言ふまでもない。然る現在の諸状況下に於ける産業別組織への吾々組合の重要任務を果敢なる斗争を以て遂行しおければならぬ。そのためには強力なる斗争体を確立し当面左の斗争に全力を集中しおければならぬ。

A. 日常斗争の方針